

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	急性期脳梗塞における頭部 CT の画質改善—逐次近似再構成法の有用性に関する検討—
研究責任者 (所属科名)	小野 千秋 (放射線診断科：主任部長)
本研究の目的・意義	急性期脳梗塞が疑われる患者さんは緊急で頭部 CT が撮影されますが、従来の画像作成法では脳梗塞を捉えることが困難なことが多く、確定診断には MRI が必要となります。近年開発された逐次近似再構成法 (Iterative Reconstruction: IR) は、撮像内の構造物を従来の方法よりも正確に再現することができ、画像を大きく改善させます。この研究では、IR 法を用いることによって、急性期梗塞巣の描出能がどれだけ改善するかを検討します。
調査方法・調査期間	急性期脳梗塞が疑われた患者さんの頭部 CT 画像に対して画像処理、統計解析を行う多施設共同研究です。2017年9月～2019年12月までの情報を調査対象とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 急性期脳梗塞の疑いにて CT が撮像され、MRI あるいは経過観察の CT にて脳梗塞が確定できる成人の患者様 ★利用する情報 患者様の性別、年齢、身長、体重、主訴、既往歴、家族歴、臨床診断、CT 画像、頭部 MRI 画像、検査時の被ばく線量、画像診断
個人情報の取り扱い	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありません。
共同研究機関	広島大学、産業医科大学、新古賀病院、Radboud University (オランダ)

本研究の資金源 (利益相反)	東芝メディカルシステムズと共同研究契約を結んでいますが、東芝社は資金の提供のみで解析等には参加せず、結果に影響を及ぼすことはありません。
お問い合わせ先	082-815-5211 担当者：古本 大典（放射線診断科：部長）
備考	なし